

令和5年度

事業報告書



社会福祉法人
江津市社会福祉協議会

目 次

I. 概 要	1 頁
II. 事業実施報告	2～22 頁
1. 地域福祉を担う人づくり	
(1) 福祉教育の推進と地域福祉の意識づくり	
①福祉教育実施校助成事業（共同募金助成事業）	2 頁
②江津市地域福祉学習推進モデル事業（共同募金助成事業）	2 頁
③あいサポート運動の推進	2～3 頁
④江津市総合社会福祉大会の開催（共同募金助成事業）	3 頁
⑤福祉ふれあいチャリティーバザーの開催	3 頁
⑥高齢者等生活支援体制整備事業	4 頁
(2) ボランティアなど市民活動の育成、支援	
①ボランティアセンター事業	4～5 頁
②障がい者支援ボランティアの養成・育成	5～6 頁
③民間助成事業の利用支援	6 頁
2. 地域づくりを展開するまちづくり	
(1) 地域福祉活動の体制づくり	
①地域福祉座談会の開催	6 頁
②民間助成事業の利用支援【再掲 1-(2)-③参照】	6 頁
③社協地区支会との連携強化と活動の活性化〔社協支会活動助成（共同募金助成事業）〕	7 頁
④地域介護予防活動支援事業	7 頁
⑤障がい者サロンの開催	7～8 頁
⑥福祉委員制度（福祉委員のあり方）の見直し	8 頁
⑦高齢者等生活支援体制整備事業【再掲 1-(1)-⑥参照】	8 頁
⑧住民参加型在宅福祉サービスへの取組	8 頁
⑨自治会区等の小地域福祉活動の推進	8～9 頁
⑩市内各地区敬老の日のつどい事業（共同募金助成事業）	9 頁
(2) 地域の関係機関の連携体制づくり	
①江津市社会福祉法人連絡会の活動推進	9 頁
(3) 安心・安全を支える地域のネットワークづくり	
①災害ボランティアセンターの体制整備	9～10 頁
②災害ボランティアの養成	10 頁
③災害ボランティアコーディネーターの育成・養成	10 頁
④地域介護予防活動支援事業【再掲 2-(1)-④参照】	10 頁
⑤防犯・見守り活動	10～11 頁

3. 地域福祉を支える支援体制づくり

(1) サービスの提供体制づくり

- ①地域介護予防活動支援事業【再掲 2-(1)-④参照】 11頁
- ②生活支援まごころフレッシュサービス事業 11頁
- ③江津和光園大学ふれあい教室の開催（共同募金助成事業） 11頁
- ④歳末声かけボランティア事業（共同募金助成事業） 11～12頁
- ⑤骨髓バンク基金事業 12頁
- ⑥福祉バス運行事業（社会福祉活動基金事業） 12頁
- ⑦生活福祉資金貸付事業 12～13頁
- ⑧民生基金貸付事業 13頁
- ⑨赤い羽根子どもの遊び場の保険加入事務 13頁

(2) 相談体制・情報提供体制の充実

- ①ふれあい福祉センター総合相談事業 13～14頁
- ②福祉委員制度（福祉委員のあり方）の見直し【再掲 2-1-⑥参照】 14頁
- ③広報紙の発行およびホームページの更新 14頁

(3) 権利擁護・虐待防止対策の推進

- ①日常生活自立支援事業 14～15頁
- ②法人後見受任事業 15頁
- ③権利擁護の普及啓発および権利擁護人材の育成 15～17頁

(4) 生活困窮者等の自立支援の推進 17頁

- ①緊急一時食糧支援事業（フードバンク事業） 17頁
- ②生活困窮者日用品等提供事業 17～18頁
- ③入居債務保証支援事業 18頁

(5) 地域福祉に関する基盤整備

- ①福祉バス運行事業（社会福祉活動基金事業）【再掲 3-(1)-⑦参照】 18頁
- ②社協支会との連携強化と活動の活性化〔社協支会活動助成（共同募金助成事業）〕【再掲 2-(1)-③参照】 18頁
- ③民間助成事業の利用支援【再掲 1-(2)-③参照】 18頁
- ④社会福祉活動基金事業（福祉団体助成） 18～19頁
- ⑤高齢者等生活支援体制整備事業【再掲 1-(1)-⑥参照】 19頁
- ⑥法人運営事業 19頁
- ⑦研修会等への参加 19～20頁

(6) 団体事務の受託

- ①江津市民生児童委員協議会（団体事務の受託） 20～21頁
- ②江津市老人クラブ連合会（団体事務の一部受託） 21頁
- ③江津市共同募金委員会（団体事務の受託） 21頁
- ④日本赤十字社島根県支部江津市地区（団体事務の受託） 21～22頁

令和 5 年度 事業 報告

【I】概 要

少子高齢化・人口減少社会の到来により、厳しい経済情勢や地球温暖化に伴う気候変動から頻発する大規模自然災害など、地域における住民の安全・安心な暮らしが脅かされ、また、コミュニティの維持困難な地域が増えていくことが懸念されております。さらに、地域における連帯・相互の支え合いなどの意識が低下しており、加えて、新型コロナウイルス感染症の影響から人と人との交流が減少したことによって、ひきこもりやダブルケアなど孤独感を抱える人の課題が浮き彫りになっています。

本協議会は、令和5年5月、新型コロナウイルス感染症の第5類に移行後においても、引き続き感染症拡大防止策を十分に講じて、地域共生社会の実現に向け島根県社協が策定した社協・生活支援活動強化方針「しまね版アクションプラン」にある地域福祉の基本的な考えをもとに、最終年次の「第3次江津市地域福祉活動計画」に掲げる取り組みの実践に基づいた事業の展開に努めました。しかし、一部事業については、調整等が難しく当初計画した事業内容の変更や縮小、中止を余儀なくされることとなりました。

そして、今年度、計画に掲げた諸事業の推進について、重点的に推進する事項の3項目は、次のとおり取り組みました。

『生活困窮者等に対応する生活支援相談の機能強化』に関しては、本協議会とワーカーズコープとの共同事業体「江津市自立できる地域づくり共同事業体」が運営する「生活支援相談センターごうつ」において従前の自立相談支援事業、被保護者就労支援事業、会計改善支援事業に加え就労準備支援事業、被保護者就労準備支援を実施し、生活困窮者が抱える多様で複合的な課題を包括的に受け止め、支援に関する総合調整や継続的な支援に努めました。

また、「生活支援相談センターごうつ」では、「農福連携」による就労支援体制を構築するため、耕作地を確保し、就労訓練等を一体的に行いながら自立に向けた支援の取り組みを進めています。

『災害ボランティアセンター立ち上げ訓練の実施』に関しては、7月7日、島根県社協と共催の「災害ボランティアセンター立ち上げ訓練 in 江津」を開催しました。訓練を通じて、ウィズコロナによる災害時の被災者支援活動拠点となる災害ボランティアセンター立ち上げには、新型コロナウイルス感染症との共存を前提とした感染拡大の防止対策と被災者支援ボランティア活動維持の両立や市行政などの関係機関との連携強化、また、社協職員はもとより地域住民の参画による災害ボランティアセンターの運営について、災害ボランティアのコーディネーターや運営支援者など人材育成の取り組みを進めました。

『第4次江津市地域福祉活動計画の策定』に関しては、計画的に地域における助け合い、支え合いの取り組みを地域住民とともに推進するために、本協議会は、平成29年度に策定した「第3次江津市地域福祉活動計画」の計画期間が終了することから、市行政が策定した第4次江津市地域福祉計画と車の両輪ように密接な関係の「第4次江津市地域福祉活動計画」を令和6年3月に策定しました。本計画では、令和6年度から6年の計画期間中において、少子高齢化・人口減少社会の到来による老々介護や8050問題、ひきこもり、生活困窮者や子どもの貧困問題など、多様な支援ニーズに対応するための取り組みを、市行政をはじめ、地域住民によるボランティア団体等と連携・協力しながら、「地域共生社会」の実現を目指します。

なお、各事業の具体的な実施状況については、以下（次頁以降）のとおり報告いたします。

1. 地域福祉を担う人づくり

(1) 福祉教育の推進と地域福祉の意識づくり

事業名	①福祉教育実施校助成事業（共同募金助成事業）
事業内容	社会福祉への理解と関心を高め、社会奉仕、社会連帯の精神を養うとともに、福祉教育・学習の機会を提供し、体験や交流活動を通して福祉の心を育てることを目的とした下記の事業を実施する市内の小中学校及び特別支援学校（養護学校）に対し助成金を交付する。 (1) 基本事業（全ての学校において実施する事業） 高齢者または障がいのある人の理解と社会の問題等についての学習 福祉読本による学習、福祉講話、映画会 (2) 選択事業（学校実情等に応じて実施する事業） ア. 手話、点字、アイマスク、車椅子体験等の福祉体験教室、またはハンディキャップ体験の実施 イ. 社会福祉施設への訪問、交流活動 ウ. 高齢者等とのふれあい郵便 エ. 学校行事への高齢者、障害者等の招待 オ. 清掃、美化運動 カ. 敬老会等、地域での福祉事業への参加 キ. ボランティア活動への参加 ク. 福祉図書等の整備 ケ. 赤い羽根共同募金を通じた学習（共同募金教室）の開催 コ. その他
対象者	市内の小中学校、江津清和養護学校（12校）の児童生徒会を対象
成果等	○学校における福祉プログラムづくりのあり方について、令和4年度からの市教育委員会並びに小中学校校長会と協議を重ねた結果、子どもたちが、高齢者や障がいのある方の生活のしづらさなど、他の人のことを自分のこととして、自ら考え、判断し、表現できる学習活動に繋がれるように、本助成金交付要綱を改正施行した。 ○各学校における福祉教育プログラムづくりの支援を行うとともに、各学校の児童数、生徒数に応じて、一校あたり42,000円（基本事業31,000円、選択事業11,000円）から50,000円（基本事業31,000円、選択事業19,000円）の範囲で助成金交付。 ・特に、学校等において、子どもたちが「高齢者や障がいのある方に対する理解と社会の問題」等について学習する機会を設定の際、専門家を講師とした福祉講話の実施を推奨した。 また、様々な特性がある障がいのなかで、特に見えにくい障がいのある方が困っていることや必要な配慮の理解をすすめるための「あいサポート運動（研修）」を福祉教育プログラムとして継続する学校がある。（令和5年度1校） 今後、この学校事例をモデルに各学校に取り組みの働きかけを強化したい。
備考	基本事業は全ての学校において実施することになっていたが、一部の学校においては、コロナ禍等により、今年度実施について猶予した学校がある。

事業名	②江津市地域福祉学習推進モデル事業（共同募金助成事業）
事業内容	地域福祉の推進には、「福祉学習に始まり、福祉学習に終わる」という、反復、継続した学習機会が必要とされている。地域の生活課題、福祉課題に気づき、考え、行動し、発展させる地域ぐるみの福祉学習を推進し、地域のニーズに応えた活動を実践することによって、地域福祉を担う人づくりや地域の福祉力向上を図る。 ※事業実践者を選定（指定）した２ヵ年のモデル事業。（令和５年度から令和６年度までの２ヵ年） ※事業実践者には助成金を交付。（令和５年度：100,000円）
対象者	江津市社会福祉協議会地区支会
成果等	○地域における以下の「生活課題・福祉課題」を地域ぐるみの福祉学習に位置付け、地域のニーズに応える活動が実践できるよう地域福祉学習会（地域の課題解決を図るための座談会）を地域（事業実践者）と共催して実施した。 ・事業実践者 江津市社会福祉協議会敬川支会・敬川まちづくり協議会 ・地域福祉学習のテーマ（地域における生活課題や福祉課題） 敬川地域における一人暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯の一部において、自動車運転免許証の返納等により、買い物、通院などへの移動手段が失われたため、日常生活に支障をきたす課題

	題把握を起因とする同地域の高齢者等の日常生活における困りごと解決のあり方について ・参加者 江津市社会福祉協議会敬川支会長、川波地区民児協敬川支部民生委員児童委員、敬川まちづくり協議会関係者、敬川連合自治会長 島根県社会福祉協議会石見支所職員 江津市地域包括支援センター第1層生活支援コーディネーター 江津市社会福祉協議会職員（地域福祉課長、第2層生活支援コーディネーター） 10名程度 ・学習会 毎月1回定期開催（第3水曜日午前中）
備考	

事業名	③あいサポート運動の推進																							
事業内容	住民だれもが、多様な障がいの特性、障がいのある方が困っていること、障がいのある人への必要な配慮などを理解し、ちょっとした手助けや配慮を実践することにより、障がいのある方が暮らしやすい地域社会（共生社会）の実現を目指す。																							
対象者	市民等																							
成果等	○障がいの特性や必要な配慮などを理解して障がいのある方々を手助けする「あいサポーター」を普及するため、市内の小中学校や社会福祉協議会地区支会等に、「あいサポーター研修」の開催案内を行って、下記の依頼により実施した。 ・令和5年度あいサポーター研修実績 <table><tr><th>開催日</th><th>受講団体等</th><th>メッセンジャー</th><th>参加者 (修了者)</th></tr><tr><td>6月21日（水）</td><td>株式会社ホームケア島根</td><td>一般</td><td>10名</td></tr><tr><td>6月26日（月）</td><td>江津市社会福祉協議会敬川支会</td><td>職員</td><td>10名</td></tr><tr><td>12月14日（木）</td><td>島根県立江津高等学校・3年生</td><td>職員</td><td>9名</td></tr><tr><td>2月1日（水）</td><td>江津市立江東中学校・3年生</td><td>職員</td><td>13名</td></tr></table> 【合計：42名】 【参考】令和4年度実績：参加者（修了者）97名				開催日	受講団体等	メッセンジャー	参加者 (修了者)	6月21日（水）	株式会社ホームケア島根	一般	10名	6月26日（月）	江津市社会福祉協議会敬川支会	職員	10名	12月14日（木）	島根県立江津高等学校・3年生	職員	9名	2月1日（水）	江津市立江東中学校・3年生	職員	13名
開催日	受講団体等	メッセンジャー	参加者 (修了者)																					
6月21日（水）	株式会社ホームケア島根	一般	10名																					
6月26日（月）	江津市社会福祉協議会敬川支会	職員	10名																					
12月14日（木）	島根県立江津高等学校・3年生	職員	9名																					
2月1日（水）	江津市立江東中学校・3年生	職員	13名																					
備考																								

事業名	④江津市総合社会福祉大会の開催（共同募金助成事業）
事業内容	○社会福祉関係者や市民が一堂に会する大会を開催し、多年にわたり社会福祉に貢献された方々を表彰するとともに、実践発表等を通じて、より一層の福祉意識の醸成を図る。 ○江津市総合社会福祉大会運営委員会の開催（大会内容等の検討） ○江津市総合社会福祉大会表彰審査委員会の開催（被表彰候補者の審査）
対象者	江津市社会福祉関係者並びに市民
成果等	○次のとおり開催し、地域福祉の意識向上を図り「福祉のまちづくり」を推進した。 ・日時、会場 令和5年11月15日（水）10：00～、パレットごうつ2Fホール ・出席者 50名 ・表彰状授与者 8名 ・感謝状授与者 4名
備考	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、出席者を表彰状・感謝状を受け取られる方および市長、主催団体等とし、表彰状および感謝状の贈呈式だけを開催した。

事業名	⑤福祉ふれあいチャリティーバザーの開催
事業内容	○市民の皆様にご提供いただいた品物を販売し、その収益金により市内の福祉事業の推進を図ることを目的として開催。（収益金は共同募金として取り扱う） ○福祉ふれあいチャリティーバザー運営委員会の開催（運営方法等について検討）
対象者	市民（市民以外も含む）

成果等	○福祉ふれあいチャリティーバザー運営委員会（10月16日開催）において、開催すること前提に、運営方法などを慎重に協議した結果、新型コロナウイルスは第5類に移行後の感染状況や開催時期（冬の時期）を考慮して、令和4年度と同様の開催内容で実施することを決定し、以下のとおり開催した。 令和5年度実績 <table border="1"> <tr> <td>開催日時</td><td>令和5年12月3日（日）9：30～12：30</td></tr> <tr> <td>会場</td><td>・江津市総合市民センター 2階大会議室</td></tr> <tr> <td>内容</td><td> ・来場者数：約186名（令和4年度：約200名） ・収益金：202,070円（令和4年度：211,588円） </td></tr> <tr> <td>備考</td><td> ・出店団体：江津ライオンズクラブ 寄付金：50,000円を共同募金へ直接寄付 </td></tr> </table>	開催日時	令和5年12月3日（日）9：30～12：30	会場	・江津市総合市民センター 2階大会議室	内容	・来場者数：約186名（令和4年度：約200名） ・収益金：202,070円（令和4年度：211,588円）	備考	・出店団体：江津ライオンズクラブ 寄付金：50,000円を共同募金へ直接寄付
開催日時	令和5年12月3日（日）9：30～12：30								
会場	・江津市総合市民センター 2階大会議室								
内容	・来場者数：約186名（令和4年度：約200名） ・収益金：202,070円（令和4年度：211,588円）								
備考	・出店団体：江津ライオンズクラブ 寄付金：50,000円を共同募金へ直接寄付								
備考									

事業名	⑥高齢者等生活支援体制整備事業			
事業内容	高齢者等のニーズに合った生活支援の担い手の養成や、サービス等の資源開発、関係者のネットワーク化を推進する。また、地域の関係者による定期的な参加、情報共有及び連携・協働の場である「協議体」も開催する。			
対象者	65歳以上の方			
成果等	市内各地区の情報・課題の把握に取り組み、地域の繋がりを絶やさない仕組み作りを検討した。第2層協議体を開催し今後の課題や取り組みについて共有した。 ○地域コミセンやサロンを訪問し、活動状況や地域の困りごと等の把握 ○地域ケア会議に参画し、地域資源や地域課題の情報を共有 ○江津市第2層協議体の開催			
	圏域	開催状況	出席者数	内 容
	東部	1/29(月)	8名	東部地域第2層協議体意見交換会
	中部	7/1(土)1/19(金) 7/4(月)	延べ30名 11名	本町地区にて生活バスのバス停増設について協議 金田地区にて近い将来の食の確保について生協しまねを交えた意見・情報交換会
		1/26(金)	8名	中部地域第2層協議体意見交換会
	西部	計6回	※	敬川地区にて住民を主体として、高齢者を支える会の開催
	桜江	計6回	延べ90名	生活利便性向上推進協議会の意見交換会、買い物支援 バスの試験運行、社協まごころフレッシュサービスの活動周知
備考				

1. 地域福祉を担う人づくり

(2) ボランティアなど市民活動の育成、支援

事業名	①ボランティアセンター事業
事業内容	ボランティアを求めている個人や施設・団体とボランティア活動を希望する人やグループを結びつける等、ボランティア活動を推進する機関であり、概ね以下の活動を行う。 (1) ボランティア相談（登録、斡旋、連絡調整） (2) 情報提供 (3) 各種出前講座（講習会）開催、指導（車椅子、アイマスク、高齢者の日常動作の疑似体験指導等） (4) 障がい者支援ボランティアの養成・育成【1-(2)-②参照】 (5) ボランティア研修会・講演会の開催

	(6) 活動基盤充実（ボランティア保険加入促進） (7) 生活支援まごころフレッシュサービス事業【3-(1)-②参照】 (8) 歳末声かけボランティア事業【3-(1)-④参照】 (9) ボランティア団体連絡会の開催 (10) ボランティアセンターの運営評価（ボランティアセンターの運営委員会の開催）																																							
対象者	市民																																							
成果等	○登録者 <table><tr><td>個</td><td>人</td><td>27 名</td><td>（前年度比 3 名増）</td></tr><tr><td>団</td><td>体</td><td>68 団体</td><td>（前年度比 1 団体減）</td></tr><tr><td>団</td><td>体</td><td>構</td><td>成</td><td>員</td><td>1,728 名</td><td>（前年度比 17 名減）</td></tr></table> 新規：（無） 解散：（二宮町 6-2 ひまわり防犯グループ） ○情報提供 行事（江津市障がい者協会主催のバス旅行）でのボランティア募集（2 名の支援者が応募） 行事（民生・児童委員跡市支部のお花見会）でのボランティア募集（応募者無し） ○情報発信 広報紙「ごうつ社協」第 182 号, 第 186 号にボランティアセンターからの情報掲載 ○出前講座 <table><tr><td>期日</td><td>対象者</td><td>参加者</td><td>内 容</td></tr><tr><td>9/20</td><td>川波小学校 4 年生</td><td>13 名</td><td>高齢者疑似体験</td></tr><tr><td>10/3</td><td>桜江中学校 2 年生</td><td>13 名</td><td>高齢者疑似体験</td></tr><tr><td>10/20</td><td>桜江小学校 3 年生</td><td>18 名</td><td>盲導犬の学習</td></tr><tr><td>1/25</td><td>郷田小学校 5 年生</td><td>12 名</td><td>高齢者疑似体験</td></tr><tr><td>2/1</td><td>江東中学校 3 年生</td><td>10 名</td><td>高齢者疑似体験</td></tr></table> ○ボランティア研修会の開催 1/28 〔講演〕 新たな参加を生むまちづくり ～今の時代にあった地域活動の進め方～ 〔講師〕 特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会 副代表理事 青山織衣 氏 受講者 約 90 名	個	人	27 名	（前年度比 3 名増）	団	体	68 団体	（前年度比 1 団体減）	団	体	構	成	員	1,728 名	（前年度比 17 名減）	期日	対象者	参加者	内 容	9/20	川波小学校 4 年生	13 名	高齢者疑似体験	10/3	桜江中学校 2 年生	13 名	高齢者疑似体験	10/20	桜江小学校 3 年生	18 名	盲導犬の学習	1/25	郷田小学校 5 年生	12 名	高齢者疑似体験	2/1	江東中学校 3 年生	10 名	高齢者疑似体験
個	人	27 名	（前年度比 3 名増）																																					
団	体	68 団体	（前年度比 1 団体減）																																					
団	体	構	成	員	1,728 名	（前年度比 17 名減）																																		
期日	対象者	参加者	内 容																																					
9/20	川波小学校 4 年生	13 名	高齢者疑似体験																																					
10/3	桜江中学校 2 年生	13 名	高齢者疑似体験																																					
10/20	桜江小学校 3 年生	18 名	盲導犬の学習																																					
1/25	郷田小学校 5 年生	12 名	高齢者疑似体験																																					
2/1	江東中学校 3 年生	10 名	高齢者疑似体験																																					
備 考																																								

事業名	②障がい者支援ボランティアの養成・育成
事業内容	○手話・音訳レベルアップ講座 登録者を対象に、手話は必要な知識や技術を学びコミュニケーション力を身に着ける講座、音訳は、市広報、社協広報、議会だより等を音訳提供する際に必要な知識と技術を学ぶ講座。
対象者	市民
成果等	○手話奉仕員レベルアップ講座 ・開催回数 2 （前年度比 1 回減） ・延べ受講者数 10 名（前年度比 2 名減） ○音訳スキルアップ勉強会 ・開催回数 3 回 （前年度比 1 回増） ・延べ受講者数 9 名 （前年度比 2 名減） ○要約筆記レベルアップ講座

	・開催回数 0 回 ・延べ受講者数 0 名 ※令和 4, 5 年度は開催無
備 考	市民に対し、障がい者支援ボランティアの啓発を促すために、広報活動を進めていく。

事業名	③民間助成事業の利用支援
事業内容	民間助成事業の利用促進により、地域福祉活動等の活性化を図る。
対象者	不定（それぞれの実施主体が定めるため）
成果等	助成事業の周知と合わせて、申請団体等に関する活動の支援（副申書作成）を行って、助成決定につなげた。 ○大和証券財団「2023 年度（第 30 回）ボランティア活動助成」（全国公募） ・申請団体：本町地区歴史的建造物を活かしたまちづくり推進協議会【助成金決定額】300,000 円
備 考	

2. 地域づくりを展開するまちづくり

(1) 地域福祉活動の体制づくり

事業名	①地域福祉座談会の開催		
事業内容	地域内の福祉課題、生活課題について話し合う場として、社協支会単位等で座談会を行い、ニーズ把握と連携強化を図る。		
対象者	地域の住民等（65 歳以上の方）		
成果等	○生活支援コーディネーターが、第 2 層協議体（中学校区を単位とする日常生活圏域ごとにおける話し合いの場）の開催や地域のコミセンやサロン会場を訪問して、地域の課題・ニーズの把握や地域の活動状況調査などを行い、地域福祉座談会の開催に位置付けた。		
	圏域	開催状況	出席者数
	東部	1/29(月)	8 名
	中部	7/1(土)1/19(金) 7/4(月)	延べ 30 名 11 名
		1/26(金)	8 名
	西部	計 6 回	※
	桜江	計 6 回	延べ 90 名
	内容 東部地域第 2 層協議体意見交換会 本町地区にて生活バスのバス停増設について協議 金田地区にて近い将来の食の確保について生協しまねを交えた意見・情報交換会 中部地域第 2 層協議体意見交換会 敬川地区にて住民を主体として、高齢者を支える会の開催 生活利便性向上推進協議会の意見交換会、買い物支援 バスの試験運行、社協まごころフレッシュサービスの活動周知		
	【訪問地域及び回数】 ・有福 7 回 ・跡市 6 回 ・波子 4 回 ・敬川 14 回 ・二宮 4 回 ・都野津 5 回 ・和木 29 回 ・嘉久志 21 回 ・郷田（高浜、本町） 33 回 ・金田 10 回 ・渡津 23 回 ・松平（松川、川平） 21 回 ・浅利 7 回 ・都治 7 回 ・黒松 8 回 ・波積 20 回 ・長谷 10 回 ・市山 12 回 ・川戸 9 回 ・谷住郷 12 回 ・川越 17 回（合計 279 回）		
	【地域の課題・ニーズ把握（主なもの）】 ・担い手不足による地域活動の維持 ・男性の社会参加が少ない ・公共交通利用低迷、高齢者の運転免許証の返納に伴う、日常生活における移動問題等		
備 考			

事業名	②民間助成事業の利用支援【再掲 1-(2)-③参照】
-----	----------------------------

事業名	③社協地区支会との連携強化と活動の活性化〔社協地区*支会活動助成（共同募金助成事業）〕
事業内容	小地域の誰もが安心して暮らせるよう、援助を要する人たちの把握と見守り、声かけを基本とした個別援助活動、ふれあいサロン、老人給食、子育てサロンなどの集団援助活動などを支援する。社協地区支会に関する運営費の支援は、社協会費の実績額に応じて助成金を交付する。また、活動費は、江津市共同募金委員会から助成金を交付する。
対象者	社協地区支会（支会長）及び地域福祉に関わるボランティア団体等住民全般
成果等	○23 地区社協活動により、地域福祉活動とネットワークの充実に貢献し、小地域の福祉の充実に大きな役割を果たしている。 ○社協地区支会（23 支会）の助成金交付について ・運営費：550,640 円（総額）、活動費：4,021,420 円（総額）
備考	

事業名	④地域介護予防活動支援事業											
事業内容	○家に閉じこもりがちな高齢者に対して、定期的な訪問活動や地域住民との交流活動（ふれあいサロン）を通して、社会的孤立の解消、自立生活の助長及び要介護状態になることを予防する。 (1) 定期的な訪問、声かけ運動 生活・福祉課題を早期に発見し、必要とする支援につなげる。 (2) ふれあいサロン 交流会・懇談会等、各社協支会（または各サロン）において月 1～2 回程度開催。 ○小地域支援ネットワーク推進委員会代表者会の開催（事業のあり方等の検討）											
対象者	○概ね 65 歳以上の高齢者 ○実施者：小地域支援ネットワーク推進会（社協支会、民生委員・児童委員、婦人会、健康づくり推進会、ボランティア等）											
成果等	○見守り活動による安心して暮らせるまちづくりの推進（生活・福祉課題を早期に発見し、公的サービスや住民同士の助け合い活動による支援へつなげた） ○住民同士が出会い、知り合うことで、多様な人間関係が生まれ、精神的・身体的に活性化（認知症予防・介護予防） ○令和 5 年度ふれあいサロン実績 <table><tr><td>実施回数</td><td>1,088 回</td><td>（前年度比 312 回増）</td></tr><tr><td>延べ参加者数</td><td>15,198 人</td><td>（前年度比 3,745 人増）</td></tr><tr><td>開催箇所数</td><td>47 か所</td><td>（前年度比 9 か所増）</td></tr></table> ・新型コロナウイルス感染症が第 5 類に移行後、各地域において開催回数等に差はあるものの、本格的に再開されるようになった。また、一部の地域では開催箇所が増えている。			実施回数	1,088 回	（前年度比 312 回増）	延べ参加者数	15,198 人	（前年度比 3,745 人増）	開催箇所数	47 か所	（前年度比 9 か所増）
実施回数	1,088 回	（前年度比 312 回増）										
延べ参加者数	15,198 人	（前年度比 3,745 人増）										
開催箇所数	47 か所	（前年度比 9 か所増）										
備考	桜江地区については、市がさくらえいきいきワーカーの協力を得て直接実施しているため、上記実績は旧江津市地域でのもの。											

事業名	⑤障がい者サロンの開催
事業内容	○江津市（高齢者障がい者福祉課）、江津市基幹相談支援センター島根整肢学園、江津市障がい者協会などと連携、協働して、障がいのある方々の交流の場（居場所）、障がい者サロンを開催する。
対象者	市内の障がいのある方々をはじめとする一般市民
成果等	○地域とのつながりが弱い傾向にある、障がいのある方々が、悩みごとや心配ごとを抱え込み、ひきこもりや生活困窮に陥らないように、障害者週間の期間中に「地域でつながる居場所・サロン」を開催して、障がいのある方を基軸に高齢者や子育て世代など一般市民との交流の場（居場所）を、以下のとおり実施した。（赤い羽根共同募金助成金の活用による事業） ・日時、会場 令和 5 年 12 月 9 日（日）10：00～12：30、パレットごうつ市民交流広場

	・内 容 障がいのある方々と一般市民が障がいを知りつなげるため「食」をテーマに、障がい福祉サービス事業所による軽食提供やニューススポーツ体験、また、困りごと相談ができる交流イベント ・おしるこ 200 食限定【江津市社会福祉協議会】 ・コーヒー100 杯限定【ワークくわの木江津事業所】 ・シフォンケーキ 100 食限定【さくらんぼのお家】 ニューススポーツ体験コーナー（スカットボール、輪投げなど） 当該サロンの名称公募による最終候補名称（3 候補）を来場者が投票により決めた。最多票を得た名称「ひだまりサロン」が正式名称となった。 ・主催：江津市社会福祉協議会 ・共催：江津市、江津市基幹相談支援センター島根整肢学園、江津市障がい者協会 ○地域の障がいのある方々が、高齢者、子育て世代などあらゆる人々と出会い交流やつなげる機会ができた。また、サロンを通じて、日頃の不安や悩みなどを相談できる場もあり、ひきこもりや生活困窮に陥らない取り組みの一端とすることができた。 ○一般市民の参加者は、障がいのある方々との交流は、当事者を通じて障がいについて知り、理解を深めていただく機会になった。
備 考	

事業名	⑥福祉委員制度（福祉委員のあり方）の見直し
事業内容	地域の情報を共有するために、従来の福祉委員制度を見直し、住民と民生委員・児童委員のつなぎ役となるような体制づくりについて検討を行う。 福祉委員のあり方検討会（平成 26 年度開催）の結果を踏まえ、地域の見守り活動を通じて、ひきこもりや生活困窮状態にある人などを、必要に応じて民生委員・児童委員や社会福祉協議会等へのつなぎ役を担うなど、福祉委員の役割や位置付けを明確にする。
対象者	福祉委員（社会福祉協議会各支会長、各自治会長等）
成果等	○江津市連合自治会長協議会との同意内容（平成 18 年 7 月 18 日付）に基づき、連合自治会長等に対して、社協が実施する地域福祉の推進について支援していただくようお願いした。 ○各地域の支会長と自治会長を「福祉委員」として委嘱状を交付した。また、委嘱状の交付に伴い、福祉委員の役割や活動概要について書面による明示（説明）を行った。
備 考	福祉委員の委嘱状の交付と併せて、福祉委員の役割などの書面による明示（説明）を、継続して行っているが、地域差はあるものの特に自治会長においては、毎年交代するところもあり、また、自治会長の負担過大から福祉委員が敬遠されその理解がなかなか進まない。 地域に出かけて福祉委員の説明をすることを地域に提案しても地域からの依頼がない状況にある。

事業名	⑦高齢者等生活支援体制整備事業【再掲 1-(1)-⑥参照】
-----	-------------------------------

事業名	⑧住民参加型在宅福祉サービスへの取組
事業内容	地域での見守り活動の中から把握された在宅要援護者（高齢者や障がい者等）の方が、地域からの孤立を防ぎ、人と人、人と社会がつながり支え合うため、地域共生社会創造助成金事業（島根県社会福祉協議会助成事業）の活用により、住民参加型在宅福祉サービス（住民同士が出会い参加することのできる場や居場所づくり、日常の支え合い活動などの新たな立ち上げ又は拡充）を実践する組織の支援を行う。
対象者	地域住民
成果等	○令和 5 年度については、申請団体がなかった。
備 考	

事業名	⑨自治会区等の小地域福祉活動の推進
事業	住民が自治会エリアにおいて主体的・組織的・計画的に取り組む福祉活動を支援するとともに、

内 容	こうした活動を主導する地域人材の育成等を支援することにより、島根県ならではの地域資源や精神的豊かさを活かした新たな支え合い活動を推進する。
対象者	自治会等の小地域福祉活動を行う組織
成果等	○江津市地域福祉活動推進助成事業の助成対象活動のひとつに、自治会等が行う小地域での福祉推進のための活動を盛り込み、その活動を支援した。 江津市地域福祉活動推進助成事業における自治会区等の福祉活動へ助成実績 ・令和5年度については、助成申請がないため助成実績なし。
備 考	

事業名	⑩市内各地区敬老の日のつどい事業（共同募金助成事業）
事 業 内 容	江津市内の敬老活動を支援する事業（敬老会等の開催の支援）で、一地区（支会）あたり 10,000 円を支援する。
対象者	江津市内の高齢者
成果等	市内 23 地区の敬老行事関係経費等の一部に充当された。
備 考	新型コロナウイルスが5類になり、感染対策を取りながら 15 地区で敬老会が開催され、その他の地区では品物の贈呈などが行われた。

2. 地域づくりを展開するまちづくり

(2) 地域の関係機関の連携体制づくり

事業名	①江津市社会福祉法人連絡会の活動推進
事 業 内 容	社会福祉法人には、高い公共性や公益性が求められるなか、社協が中心となって市内の社会福祉法人・福祉施設と連携・協働して、地域福祉の輪を広げ、制度の狭間にある地域の課題に積極的に対応していくこととしている。
対象者	本会を含む市内 11 社会福祉法人
成果等	○災害ボランティアに関連する講演会の開催 本協議会と共催でボランティア研修会を開催した。 ・日 時 令和6年1月28日（日）10:00～11:30 ・会 場 江津市総合市民センター大ホール ・講 演 「新たな参加を生むまちづくり ～今の時代にあった地域活動の進め方～」 講師：特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会 副代表理事 青 山 織 衣 氏 参加者 ボランティア団体、社協支会、民事協、社会福祉法人連絡会の関係者等約 90 人 (その内社会福祉法人連絡会から 5 人) ○福祉に関連する講演会の開催 本協議会の講演会が、計画されなかったため開催していない。 ○福祉ふれあいチャリティーバザーへの協力 福祉ふれあいチャリティーバザーの運営スタッフとして協力することを計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小して実施したため、運営スタッフとしての協力要請に至らなかった。
備 考	

2. 地域づくりを展開するまちづくり

(3) 安心・安全を支える地域のネットワークづくり

事業名	①災害ボランティアセンターの体制整備
事 業 内 容	災害時において、被災者が一日も早く元の生活に戻れるよう、関係諸機関との連携のもと、ボランティアの募集・調整・派遣など必要な支援を行う。 また、平常時においては、災害時に効果的・効率的に災害ボランティア活動が行えるよう体制整備を行う。

対象者	被災者、ボランティア、関係諸機関
成果等	○7月に大田市社協で災害ボランティアセンターが立ち上がった際は、資機材を貸出した。 ○災害用資機材を常備しており、在庫状況については県社協と共有している。
備考	

事業名	②災害ボランティアの養成
事業内容	災害時のボランティア活動に必要な知識や技術について、講習や訓練を行い、災害ボランティアを養成する。
対象者	市民
成果等	○7月に島根県社協と共催で災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を実施した。本協議会関係者、民生委員、自治会役員、地域コミュニティ交流センター関係者等約80名が参加した。
備考	

事業名	③災害ボランティアコーディネーターの育成・養成
事業内容	災害時にボランティアの受け入れや活動先の調整などが円滑に行われるよう、災害ボランティアコーディネーター養成研修会等への参加により市民・職員資質の向上を図る。
対象者	市民・本協議会職員
成果等	○7月に島根県社協と共催で災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を実施した。本協議会関係者、民生委員、自治会役員、地域コミュニティ交流センター関係者等約80名が参加した。 ○以下の研修に参加し、職員資質の向上を図った。 ・災害ケースマネジメント推進研修 【事務局長、課長1名】 ・災害ボランティア活動におけるICT活用の検討 ～サイボウズ社クラウドサービス kintone 導入に向けた勉強会～ 【事務局長、職員1名】
備考	

事業名	④地域介護予防活動支援事業【再掲2(1)-④参照】
-----	---------------------------

事業名	⑤防犯・見守り活動
事業内容	○防犯の取り組み ・「島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり条例」の趣旨にのっとり、江津市民生児童委員協議会、江津警察署および本協議会が連携して、特殊詐欺や悪質商法の被害防止活動などの安全安心なまちづくりに関する活動を推進する。 ○見守り活動の取り組み ・家に閉じこもりがちな高齢者に対して、定期的な訪問活動や地域住民との交流活動（ふれあいサロン）を実施し、社会的孤立の解消や、福祉ニーズの早期発見を図る。 ・認知症等により徘徊のおそれのある高齢者等が行方不明になった場合に、早期に発見、保護できるように努める。
対象者	市民
成果等	○防犯の取り組み ・支会などが開催しているふれあいサロン等の中で、警察署員を講師として「特殊詐欺被害防止」についての講話を聴く機会を設け、防犯活動につなげた。 ・歳末声掛けボランティア訪問事業の際に、江津市防犯自治会・江津地区安全運転管理者協会・江津警察署が作成した特殊詐欺被害防止のPRカード（裏面は交通事故防止のPR）を配布した。 ○見守り活動の取り組み

	・地域介護予防活動支援事業において、定期的な訪問活動とふれあいサロンを実施（詳細は 2-(1)-④） ・徘徊高齢者等 SOS ネットワーク「ほっと江津！」に連携事業所として参画
備 考	平成 27 年 10 月 13 日に江津市民生児童委員協議会、江津警察署および本協議会の 3 者で「犯罪のない安全・安心なまちづくりの推進に関する協定」締結

3. 地域福祉を支える支援体制づくり

(1) サービスの提供体制づくり

事業名	①地域介護予防活動支援事業【再掲 2-(1)-④参照】
-----	-----------------------------

事業名	②生活支援まごころフレッシュサービス事業																								
事業内容	○有償ボランティア派遣事業（生活支援まごころフレッシュサービス協力会員、利用会員、賛助会員募集） ○住民同士の助けあいを基本として、日常生活支援、援助を必要とする人、子育て家族の就労支援体制を含めた負担を軽減するための会員方式の在宅福祉サービス。																								
対象者	○協力会員（江津市内在住でサービスの実務を担当する 20 歳以上の方） ○利用会員（江津市内に在住または居留し、日常生活に色々なサービスを必要とする方） ○賛助会員（労力の提供は出来ないが、財源の協力のみ出来る方）																								
成果等	○令和 5 年度実績 <table border="1" data-bbox="306 873 1257 1122"> <tr> <td rowspan="3">会員数</td><td>協力会員</td><td>13 名</td><td>（前年度比 2 名増）</td></tr> <tr> <td>利用会員</td><td>25 名</td><td>（前年度比 4 名増）</td></tr> <tr> <td>賛助会員</td><td>3 名</td><td>（今年度 3 名増）</td></tr> <tr> <td colspan="2">延べ利用件数</td><td>319 件</td><td>（前年度比 36 件減）</td></tr> <tr> <td colspan="2">協力会員延べ活動日数</td><td>1,204 日</td><td>（前年度比 65 日減）</td></tr> <tr> <td colspan="2">協力会員延べ活動時間</td><td>2,380.0 時間</td><td>（前年度比 34 時間減）</td></tr> </table> ※利用会員の会員数は、登録者のうち当年度に事業を利用した人の数 ○月に複数回利用していた会員が主に身体的な理由で、福祉施設への入居や親族との同居等により、4 月以降 10 人退会したため、利用件数等が昨年度より減少した。			会員数	協力会員	13 名	（前年度比 2 名増）	利用会員	25 名	（前年度比 4 名増）	賛助会員	3 名	（今年度 3 名増）	延べ利用件数		319 件	（前年度比 36 件減）	協力会員延べ活動日数		1,204 日	（前年度比 65 日減）	協力会員延べ活動時間		2,380.0 時間	（前年度比 34 時間減）
会員数	協力会員	13 名	（前年度比 2 名増）																						
	利用会員	25 名	（前年度比 4 名増）																						
	賛助会員	3 名	（今年度 3 名増）																						
延べ利用件数		319 件	（前年度比 36 件減）																						
協力会員延べ活動日数		1,204 日	（前年度比 65 日減）																						
協力会員延べ活動時間		2,380.0 時間	（前年度比 34 時間減）																						
備 考	桜江地区でサロンを中心に説明会を 11 回開催																								

事業名	③江津和光園大学ふれあい教室の開催（共同募金助成事業）														
事業内容	○市内の高齢者を対象として、高齢者相互のふれあいと健康、社会知識、教養を高めるために、講座（教養、陶芸、時事、医療等）を開催する。 ○江津和光園大学運営審議委員会の開催（各講座の内容等について検討）														
対象者	高齢者（老人クラブ会員）、一般住民等														
成果等	○開催状況 <table border="1" data-bbox="287 1565 1428 1693"> <tr> <th>講座</th><th>開催日</th><th>内 容</th><th>受講者</th></tr> <tr> <td>第 1 回</td><td>12/19</td><td>『民謡～みんなが笑顔になれるひとときを～』</td><td>50 名</td></tr> <tr> <td>第 2 回</td><td>2/28</td><td>『心にユーモアを！！』</td><td>43 名</td></tr> </table> ・受講者数 93 名（前年度比 130 名減） ○2 回/年開催。			講座	開催日	内 容	受講者	第 1 回	12/19	『民謡～みんなが笑顔になれるひとときを～』	50 名	第 2 回	2/28	『心にユーモアを！！』	43 名
講座	開催日	内 容	受講者												
第 1 回	12/19	『民謡～みんなが笑顔になれるひとときを～』	50 名												
第 2 回	2/28	『心にユーモアを！！』	43 名												
備 考															

事業名	④歳末声かけボランティア事業（共同募金助成事業）		
事業内容	江津市ボランティアセンター登録のボランティア等が、年末に市内 80 歳以上のひとり暮らし高齢者、夫婦共 80 歳以上の高齢者に見舞品（フリーズドライ味噌汁セット）を持って声かけ訪問をする。		
対象者	80 歳以上のひとり暮らし高齢者世帯並びに夫婦共 80 歳以上の高齢者のみの世帯		

成果等	○江津市ボランティアセンター登録会員のボランティア活動推進と対象者宅訪問により、健康確認（安否確認）に貢献した。		
	○令和5年度実績		
	(1)実施日 令和5年12月22日（金）		
	(2)活動者 ボランティア・民生委員・児童委員・社協支会長等 200 余名		
	(3)対象者		
	80 歳以上の一人暮らし高齢者世帯	801 世帯	（前年度比 1 名減）
	夫婦共 80 歳以上の高齢者のみの世帯	286 世帯	（前年度比 5 世帯増）
	合 計	1,087 世帯	（前年度比 4 世帯増）
備 考	フリーズドライの味噌汁 8 個入り 1 箱持参。		

事業名	⑤骨髄バンク基金事業
事業内容	○白血病等による骨髄移植の治療を受ける人に対して経費の軽減及び精神的援助を図るため見舞金支給を行う。（見舞金の額は一人 1 回限り 100,000 円） ○寄付者からの目的を指定した寄付金を財源とする。
対象者	江津市に住所を有し、住民基本台帳法に基づき住民基本台帳に記録されている人のうち、次のいずれかに該当する人。 (1) 骨髄移植を受けた人（ただし、骨髄移植後 1 年以内の申請に限る。また、この期間中に死亡した場合も対象とする。） (2) 1 ヶ月以内に骨髄移植を受ける予定の人（ただし、申請後、骨髄移植予定日までに死亡した場合も対象とする。）
成果等	令和5年度実績：見舞金支給 0 件（前年度比増減なし）
備 考	残り基金枠 1,130,000 円（R6.3.31 現在）

事業名	⑥福祉バス運行事業（社会福祉活動基金事業）
事業内容	福祉関係団体の諸事業（例 社協支会が行うサロン事業 市内老人クラブの研修旅行、市内保育所の遠足行事等）を推進するためにマイクロバスを運行する。このことにより、地域福祉事業の幅を広げ、変化に富んだ事業の推進に寄与する。
対象者	福祉関係団体（福祉バス運行事業実施要項に基づく 17 団体）、その他会長の承認を得た団体
成果等	○令和5年度実績 ・利用件数 88 件（前年度比 34 件増） ・利用者数 延べ 1,576 名（前年度比 678 名増） ○児童、高齢者、障がいのある人等幅広く地域福祉活動に利用され、その活性化に役立てられた。
備 考	・燃料代は利用者負担 ・土日祝祭日の運行は月 2 回以内で利用可能 ・新型コロナウイルス感染拡大防止策として、乗車人数の制限と飛沫防止用カーテンの設置を行っていたが、4 月に解除した。 ・利用団体として放課後児童クラブを新たに追加した。（16 団体→17 団体）

事業名	⑦生活福祉資金貸付事業
事業内容	収入が少ない世帯、あるいは障がい者や高齢者のいる世帯に対し、民生委員・児童委員や社会福祉協議会が協力してその相談に応じ、経済的な安定や社会参加、在宅福祉を推進する目的で運営している貸付制度。 (1)実施主体 島根県社協 (2)限度額 35,000 円～5,800,000 円（資金の種類により異なる） (3)償還期間 12 ヶ月～20 年以内（資金の種類により異なる） (4)償還関係業務 長期滞納の場合、その理由等の確認（場合によっては島根県社協による現

	地督励会の開催も調整)											
対象者	○低所得世帯…資金の貸付により独立自活できると認められる世帯であって、資金の融通を他から受けることが困難であると認められる世帯 ○障がい者世帯…身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方の属する世帯 ○高齢者世帯…日常生活上療養又は介護を要する高齢者（65 歳以上）の属する世帯											
成果等	○令和 5 年度実績 <table><tr><td>新規貸付件数</td><td>2 件</td><td>前年度比 12 件減 内訳 福祉資金 1 件 総合支援資金 1 件</td></tr><tr><td>新規貸付分の貸付元金</td><td>298, 000 円</td><td>(前年度比 1, 852, 000 円減)</td></tr><tr><td>貸付件数 (R6. 3. 31 現在)</td><td>112 件</td><td>(前年度比 18 件減) 内訳 本則貸付分 63 件 特例貸付分 49 件</td></tr></table>			新規貸付件数	2 件	前年度比 12 件減 内訳 福祉資金 1 件 総合支援資金 1 件	新規貸付分の貸付元金	298, 000 円	(前年度比 1, 852, 000 円減)	貸付件数 (R6. 3. 31 現在)	112 件	(前年度比 18 件減) 内訳 本則貸付分 63 件 特例貸付分 49 件
新規貸付件数	2 件	前年度比 12 件減 内訳 福祉資金 1 件 総合支援資金 1 件										
新規貸付分の貸付元金	298, 000 円	(前年度比 1, 852, 000 円減)										
貸付件数 (R6. 3. 31 現在)	112 件	(前年度比 18 件減) 内訳 本則貸付分 63 件 特例貸付分 49 件										
備 考	特例貸付は、令和 2 年 3 月 25 日より申込受付開始、令和 4 年 9 月 30 日申込受付終了。											

事業名	⑧民生基金貸付事業														
事業内容	○江津市内に居住する低所得者に対し、生活に緊急的に必要な一定の資金を一時的に貸し付け、自立生活を支援する。 ○資金の種類 生活を営むのに必要な経費、生業を営むのに必要な経費、医療のために必要な経費、教科書代・修学旅行に必要な経費、家屋補修に必要な経費、高額な医療費支払のために必要な経費、急迫状態にある生活困窮者等に対し、緊急かつ一時的に必要な経費 (1) 償還期間 12 ヶ月以内（高額療養費、緊急小口資金は概ね 3 ヶ月以内） (2) 利子は無利子 (3) 償還関係業務：償還金の受入、滞納者への督促(場合によっては償還指導会の開催) (4) 限度額 10,000～300,000 円														
対象者	江津市内に居住する低所得者（連帯保証人 1 名必要、緊急小口資金は不要）														
成果等	○令和 5 年度実績 <table><tr><td>新規貸付件数</td><td>5 件</td><td>前年度比 1 件増</td></tr><tr><td>新規貸付金額</td><td>33,000 円</td><td>前年度比 163,000 円減</td></tr><tr><td>貸付中の件数（R6. 3. 31 現在）</td><td>20 件</td><td>前年度比増減なし</td></tr><tr><td>償還残額（R6. 3. 31 現在）</td><td>1,147,540 円</td><td>前年度比 112,000 円減</td></tr></table>			新規貸付件数	5 件	前年度比 1 件増	新規貸付金額	33,000 円	前年度比 163,000 円減	貸付中の件数（R6. 3. 31 現在）	20 件	前年度比増減なし	償還残額（R6. 3. 31 現在）	1,147,540 円	前年度比 112,000 円減
新規貸付件数	5 件	前年度比 1 件増													
新規貸付金額	33,000 円	前年度比 163,000 円減													
貸付中の件数（R6. 3. 31 現在）	20 件	前年度比増減なし													
償還残額（R6. 3. 31 現在）	1,147,540 円	前年度比 112,000 円減													
備考															

事業名	⑨赤い羽根子どもの遊び場の保険加入事務		
事業内容	市内の跡市児童遊園地外 3 箇所を各地区それぞれの社協支会が設置しており、施設賠償責任保険への加入事務等を行う。		
対象者	3 箇所の児童遊園地（社協支会）		
成果等	地区の児童の身近な遊び場として活用されており、また、そこでの事故についての賠償責任に対応できるよう施設賠償責任保険へ加入した。		
備 考	法人運営事業予算の中に組入		

3. 地域福祉を支える支援体制づくり

(2) 相談体制・情報提供体制の充実

事業名	①ふれあい福祉センター総合相談事業		
事業内容	○市民の様々な心配ごと相談に応じ、問題の所在を明らかにした適切な解決を図り、安心した生活と福祉の向上に寄与する。		

	(1) 法律相談（弁護士）・・・毎月1回 法律に関することについて（相談時間：30 分以内） (2) 一般相談（司法書士、民生委員・児童委員）・・・江津会場1 回/月、桜江会場1 回/2 カ月 日常生活上のいろいろな心配ごと・悩みごとについて（相談時間：45 分以内） (3) 福祉相談（センター担当職員）・・・平日 福祉サービス・専門相談機関の紹介や、いろいろな心配ごと・悩みごとについて ○ふれあい福祉センター運営委員会の開催（相談事業のあり方について検討）																						
対象者	市民（市外からも受け入れる場合がある）																						
成果等	○令和5 年度実績 <table><tr><td rowspan="2">法 律 相 談 (12 回中 12 回開催)</td><td>取 扱 件 数</td><td>63 件（前年度比 4 件減）</td></tr><tr><td>相 談 利 用 者 数</td><td>66 名（前年度比 18 名増）</td></tr><tr><td rowspan="2">一 般 相 談 (18 回中 13 回開催)</td><td>取 扱 件 数</td><td>34 件（前年度比 1 件増）</td></tr><tr><td>相 談 利 用 者 数</td><td>35 名（前年度比 10 名増）</td></tr><tr><td rowspan="2">福 祉 相 談 (平 日)</td><td>取 扱 件 数</td><td>147 件（前年度比 35 件増）</td></tr><tr><td>相 談 利 用 者 数</td><td>162 名（前年度比 43 名増）</td></tr><tr><td rowspan="2">合 計</td><td>取 扱 件 数</td><td>244 件（前年度比 32 件増）</td></tr><tr><td>相 談 利 用 者 数</td><td>263 名（前年度比 71 名増）</td></tr></table> ※一般相談は、予約なしのため5 回中止（江津会場4 回、桜江会場1 回）となった。			法 律 相 談 (12 回中 12 回開催)	取 扱 件 数	63 件（前年度比 4 件減）	相 談 利 用 者 数	66 名（前年度比 18 名増）	一 般 相 談 (18 回中 13 回開催)	取 扱 件 数	34 件（前年度比 1 件増）	相 談 利 用 者 数	35 名（前年度比 10 名増）	福 祉 相 談 (平 日)	取 扱 件 数	147 件（前年度比 35 件増）	相 談 利 用 者 数	162 名（前年度比 43 名増）	合 計	取 扱 件 数	244 件（前年度比 32 件増）	相 談 利 用 者 数	263 名（前年度比 71 名増）
法 律 相 談 (12 回中 12 回開催)	取 扱 件 数	63 件（前年度比 4 件減）																					
	相 談 利 用 者 数	66 名（前年度比 18 名増）																					
一 般 相 談 (18 回中 13 回開催)	取 扱 件 数	34 件（前年度比 1 件増）																					
	相 談 利 用 者 数	35 名（前年度比 10 名増）																					
福 祉 相 談 (平 日)	取 扱 件 数	147 件（前年度比 35 件増）																					
	相 談 利 用 者 数	162 名（前年度比 43 名増）																					
合 計	取 扱 件 数	244 件（前年度比 32 件増）																					
	相 談 利 用 者 数	263 名（前年度比 71 名増）																					
備 考																							

事業名	②福祉委員制度（福祉委員のあり方）の見直し【再掲2-(1)-⑥参照】
-----	------------------------------------

事業名	③広報紙の発行およびホームページの更新
事業内容	広報紙の発行およびホームページにより、本協議会の業務及びサービスや福祉に関する情報を市民にわかり易く提供する。また、視覚に障がいのある方に対しては、広報紙を点訳・音訳して提供する。 ※点訳・音訳作業は、島根県西部視聴覚障害者情報センター（いわみーる内）を通じて、「点訳ボランティア窓の会」「声のボランティアひびきの会」に無償での協力を得ている。
対象者	市民、その他関連福祉団体等
成果等	○広報紙「ごうつ社協」発行 年5回（前年度比 増減なし） ○ホームページの更新 年42回（前年度比 7回減） ・能登半島地震災害義援金募集についての情報をホームページ及び広報紙に掲載し、周知を図った。 ・本協議会の情報だけでなく日赤や共同募金の情報も合わせて掲載している。
備 考	

3. 地域福祉を支える支援体制づくり

(3) 権利擁護・虐待防止対策の推進

事業名	①日常生活自立支援事業
事業内容	○判断能力が不十分な方や日常生活に不安のある方の権利を擁護することを目的として、それらの方が、地域で安心して自立した生活が送れるように、日常的なお手伝いを社会福祉協議会や生活支援員が行う。 (1)福祉サービスの利用援助 福祉サービスの利用に関する手続きや利用料を支払う手続きなど (2) 日常的金銭管理サービス 年金等の受領に必要な手続き、医療費・公共料金・日用品の代金の支払いなど (3)書類等の預かりサービス 年金証書、預金通帳、契約書、実印、銀行印等の保管 (4)利用料・・・1,200円×利用時間＋交通費（※ただし、生活保護世帯は支援計画に基づいた支

	援は無料) 預かり料・・・月額 200 円																	
対象者	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等日常生活に不安があり、自己の能力で様々なサービスを適切に利用することが困難な方（療育手帳や精神障害者保健福祉手帳所持者、認知症の診断を受けている者に限らない）																	
成果等	○令和 5 年度実績 <table><tr><td>①前年度末の契約者数</td><td>39 件</td><td>(前年度比 9 件増)</td></tr><tr><td>②新規契約者数</td><td>2 件</td><td>前年度比 14 件減</td></tr><tr><td>③解約・終了者数</td><td>4 件</td><td>前年度比 3 件減</td></tr><tr><td>(そのうち成年後見制度移行数)</td><td>1 件</td><td>前年度比 1 件増</td></tr><tr><td>④年度末時点の契約者数</td><td>37 件</td><td>(前年度比 2 件減)</td></tr></table> ○適切な福祉サービスの利用、公共機関等への書類提出の支援、親族等からの金銭虐待の防止、公共料金等の支払い遅延の防止、無駄遣いの抑制など、利用者の権利擁護に寄与した。			①前年度末の契約者数	39 件	(前年度比 9 件増)	②新規契約者数	2 件	前年度比 14 件減	③解約・終了者数	4 件	前年度比 3 件減	(そのうち成年後見制度移行数)	1 件	前年度比 1 件増	④年度末時点の契約者数	37 件	(前年度比 2 件減)
①前年度末の契約者数	39 件	(前年度比 9 件増)																
②新規契約者数	2 件	前年度比 14 件減																
③解約・終了者数	4 件	前年度比 3 件減																
(そのうち成年後見制度移行数)	1 件	前年度比 1 件増																
④年度末時点の契約者数	37 件	(前年度比 2 件減)																
備 考	・R6. 3. 31 現在の生活支援員数 27 名（前年度比1名増 元民生児童委員1名登録）																	

事業名	②法人後見受任事業														
事業内容	認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者等意思決定が困難な者の判断力を補うため、本協議会が成年後見人、保佐人、補助人となることにより、被成年後見人、被保佐人、被補助人の財産管理、身上監護を行い、その権利を擁護することを推進する事業である。今後、日常生活自立支援事業利用者等において、更なる判断能力等の低下により成年後見人等が必要な場合が増えることが想定されるため、地域で暮らす方々の権利を擁護していく上でのセーフティネットのひとつとして本協議会が受任している。														
対象者	江津市内に在住し、他に適切な後見人等が得られない者とするほか、次の各号のいずれかの要件を満たす者 ①日常生活自立支援事業の利用者であって、その事業では対応が困難であると判断される事項に対応する必要性が生じた場合 ②市長が法定後見（後見・保佐・補助）の開始の審判を申し立てた場合 ③その他、 特別の事由により必要があると本協議会会長が認める者														
成果等	○令和5年度実績 <table><tr><td>前年度末の受任者数</td><td>12 件</td><td>前年度比増減なし</td></tr><tr><td>新規受任者数</td><td>2 件</td><td>前年度比 2 件増</td></tr><tr><td>受任終了者数</td><td>1 件</td><td>前年度比増減なし</td></tr><tr><td>年度末時点の受任者数</td><td>13 件</td><td>前年度 1 件増 後見 8 件、保佐 3 件、補助 2 件</td></tr></table> ○被後見人等の金銭管理・身上監護を行い、その人らしい生活ができるよう支援した。 ○権利擁護推進委員会を年2回（開催日①R5. 7. 5②R6. 2. 2）開催し、専門的知識を有する委員より本事業をはじめとした権利擁護の推進について助言を受けた。			前年度末の受任者数	12 件	前年度比増減なし	新規受任者数	2 件	前年度比 2 件増	受任終了者数	1 件	前年度比増減なし	年度末時点の受任者数	13 件	前年度 1 件増 後見 8 件、保佐 3 件、補助 2 件
前年度末の受任者数	12 件	前年度比増減なし													
新規受任者数	2 件	前年度比 2 件増													
受任終了者数	1 件	前年度比増減なし													
年度末時点の受任者数	13 件	前年度 1 件増 後見 8 件、保佐 3 件、補助 2 件													
備考	・ R6. 3. 31 現在 法人後見支援員数 20 名（前年度比 増減なし） 稼働支援員数 13 名（前年度比 1 名増） 事務補助の支援員を含む 担当ケース数 13 件（前年度比 2 件増） 1 ケースに 2 名の支援員が対応ケースあり ※ただし、入所・入院施設の感染対策等による本人への面会制限により、活動休止のケースあり														

事業名	③権利擁護の普及啓発および権利擁護人材の育成
事業内容	成年後見制度の利用を必要とする人が増加する中、親族後見人が得られず、弁護士・司法書士・社会福祉士等の専門職による第三者後見人が選任されるケースが増加している。今後もますます同制度の利用を必要とする人が増加することが予測されることから、社会貢献活動に意欲がある市民が第三者後見人になる“市民後見人”への期待が高まっている。そのため本協議会では、後見人等

	を担うことのできる市民後見人の養成や育成を行うとともに、本協議会が行う法人後見受任事業や日常生活自立支援事業を支援していただく法人後見支援員および生活支援員の養成・育成を図り、判断能力が不十分な人の権利擁護を図るための取組を行う。 また、判断能力が不十分な人のみならず、すべての人の自己実現、自己決定の尊重、権利行使が守られる社会の実現を目指し、権利擁護の理念の普及啓発を行う。
対象者	市民
成果等	①令和5年度権利擁護人材フォローアップ研修会 【1回目】 ○日 時 令和5年8月19日（土）9：45～12：45 ○会 場 パレットごうつ2階ホール ○内 容 講 義「日常生活自立支援事業が地域で必要とされる背景について」 講師 全国社会福祉協議会中央福祉学院 主任教授 山下 興一郎氏（オンラインにて） 情報提供「江津市における日常生活自立支援事業と法人後見受任状況の現状について」 提供者 江津市社会福祉協議会 生活支援員の活動発表 「私の支援員活動を語る」 各自の活動発表に対して講師からコメントをもらう ○参 加 者 生活支援員・法人後見支援員・未登録者（対象は45名）・権利擁護事業に関心がある人 20名 （※未登録者：過去に市民後見人養成講座を受講した者で支援員に登録していない者） （市内の相談支援専門員・介護支援専門員事業所へ案内、福祉だより7/1号に掲載） 【2回目】 ○日 時 令和5年9月13日（水）10：00～11：00 ○会 場 パレットごうつ2F会議研修室① ○内 容 講義「司法書士による～エンディングノート出前講座～」 講師 島根県司法書士会 浜田支部 支部長 木原 聖氏 ○参 加 者 生活支援員、法人後見支援員（対象は27名）、一般 17名 （福祉だより7/1号に掲載） 【3回目】 ○日 時 令和5年11月29日（水）13：30～15：30 ○会 場 パレットごうつ2F会議研修室①② ○内 容 講義「事例検討パート2」 講師 江津市基幹相談支援センター島根整肢学園 相談支援専門員 山尾 英和氏 相談支援専門員 焼杉 淑生氏 ○参 加 者 生活支援員、法人後見支援員（対象は27名） 14名 【その他】 1回目の研修会において、日常生活自立支援事業で同一法人のグループホーム（障がい）利用者が17名おり、利用者との関わりについて悩んでいる生活支援員が多く、講師から生活支援員とグループホーム職員との意見交換会の提案を受け、開催した。 ○日 時 令和5年10月6日（金）10：30～11：30 ○会 場 ハートネットミレ青山グループホーム（グループホーム5・6丁目） ○内 容 グループホーム内の見学並びにグループホームでの生活支援について意見交換 ○参 加 者 ハートネットミレ青山グループホーム入所中の利用者担当生活支援員（対象は16名） 12名 ②広報紙による啓発活動 ・社協広報紙に専門家等の寄稿による「権利擁護コラム」を掲載

	内 容	執筆者
4月号	成年後見人の活動～事例紹介～	石見成年後見センター事務局（相談支援センターえん） 社会福祉士 齊藤 建氏
7月号	ユニバーサルコミュニケーションについて	さかた社会福祉士事務所 社会福祉士 阪田健嗣氏
10月号	島根県運営適正化委員会について	島根県運営適正化委員会
12月号	子どもの権利擁護～里親から考える～	浜田地区里親会 会長 社会福祉士 山本尚樹氏
2月号	江津市における子どもの権利教護	江津市子育て支援課

3. 地域福祉を支える支援体制づくり

(4) 生活困窮者等の自立支援の推進

	令和4年度まで、生活困窮者自立支援法施行（H27.4.1）規定する必須事業の「自立相談支援事業」と任意事業の「家計改善支援事業」について、江津市からの受託事業として取り組んできた。令和5年度からこれらの事業は本協議会とワーカーズコープの共同事業体「江津市自立できる地域づくり共同事業体」が設置している「生活支援相談センターごうつ」が、江津市からの受任事業として取り組んでいる。
--	---

事業名	①緊急一時食糧支援事業（フードバンク事業）												
事業内容	市民や関係機関・団体などから提供された食料をフードバンクとして備蓄し、これを生活が窮乏状態となった者に対し一時的に食料を提供することで、当該生活困窮者の自立と生活再建を図る。（備蓄した食料の中から一人当たり最大3食分の食料を、3日分以内で提供する。特別事情があるときは食料提供期間の延長が可能） また、当事業への指定寄付も受け付け可能。												
対象者	次の全てに該当する者 ①現に江津市内に居住している者 ②生活支援相談センターごうつの支援対象者 ③生活困窮により食料の確保が困難で生命の安全が脅かされている状態にある者												
成果等	○緊急一時食糧支援の実績 ・利用件数 60件【前年度比 37件減】60 ※利用件数は減っているが、希望者には対応している。 ○食料等の寄付状況 <table><tr><td>時 期</td><td>寄贈件数</td><td>寄贈点数</td></tr><tr><td>4月～1月</td><td>16件（1件減）17</td><td>663点（329点減）</td></tr><tr><td>2月～3月</td><td>10件（1件増）9</td><td>698点（138点減）</td></tr><tr><td>合 計</td><td>26件（増減なし）</td><td>1,361点（457点減）</td></tr></table> ※2月の本協議会広報紙で食料の提供を呼びかけて集めたほか、年間を通じて継続的に食品を寄贈していただいた団体もあり、多くの食品が集まった。	時 期	寄贈件数	寄贈点数	4月～1月	16件（1件減）17	663点（329点減）	2月～3月	10件（1件増）9	698点（138点減）	合 計	26件（増減なし）	1,361点（457点減）
時 期	寄贈件数	寄贈点数											
4月～1月	16件（1件減）17	663点（329点減）											
2月～3月	10件（1件増）9	698点（138点減）											
合 計	26件（増減なし）	1,361点（457点減）											
備 考													

事業名	②生活困窮者日用品等提供事業
事業内容	日常生活を送るのが困難な人に対し、①衣料品、②寝具、③日用品などを提供し、自立生活を支援する。
対象者	市民等
成果等	・利用件数 3件（前年度比 増減なし） 内訳（重複の場合あり）

	① 衣料品・・・0件（前年度比 3件減） ② 寝具・・・・・・0件（前年度比 2件減） ③ 日用品・・・・1件（前年度比 増減なし）
備 考	提供する品物は、チャリティーバザーの残品や、施設入所等により空き家状態となるような家庭からの提供品

事業名	③入居債務保証支援事業
事業内容	賃貸住宅に入居する際の入居保証人が確保できない者について、本協議会が、家主又は不動産業者と入居に関する債務保証契約を締結することにより住居の確保を支援し、地域生活への移行や生活再建の基盤を支える。本事業の利用希望があった場合、その旨を浜田宅建センター江津支部へ、賃貸住宅の情報提供依頼を行う。提供された情報をもとに、入居希望の賃貸住宅があった場合、その所有者（賃貸人）、利用者、本協議会の間で利用契約を締結。 ・利用期間（契約期間） 2年間とし更新が可能 ・利用料 15,000 円（一括または分割して本協議会へ納付） ※本協議会に納付された利用料全額は、入居債務保証金として島根県社協へ組み入れる ・保証の対象は次のとおり (1) 滞納家賃（月額家賃の最大3ヶ月分） (2) 退去に伴う原状回復にかかる費用（月額家賃の2か月分） ※上記（1）の月額家賃は、生活保護制度における江津市の住宅扶助費を上限額とする（条件を満たせば特別基準額が適用となる場合もある） ・保証が必要になった場合は、本協議会から島根県社協に対し保証額の請求を行う
対象者	次の全てに該当する者 ①本事業を利用して自立した日常生活を送ることが期待でき、市内の賃貸住宅に入居を希望する者 ②家賃等について継続的に支払いができるにも関わらず、入居保証人の確保ができないため賃貸住宅への入居が困難な者 ③世帯の収入が住民税非課税相当以下の者
成果等	〇令和5年度実績 0件（前年度比 増減なし）
備 考	

3. 地域福祉を支える支援体制づくり

(5) 地域福祉に関する基盤整備

事業名	①福祉バス運行事業（社会福祉活動基金事業）【再掲 3-(1)-⑥参照】
-----	-------------------------------------

事業名	②社協支会との連携強化と活動の活性化〔社協支会活動助成（共同募金助成事業）〕【再掲 2-(1)-③参照】
-----	--

事業名	③民間助成事業の利用支援【再掲 1-(2)-③参照】
-----	----------------------------

事業名	④社会福祉活動基金事業（福祉団体助成）
事業内容	地域福祉団体の活動が円満に進み、地域福祉の充実が図られるよう、香典返しを原資とした基金から毎年関係団体に助成している。なお、この交付団体の選定にあたっては、「社会福祉活動基金委員会」の審議を経て決定している。
対象者	市内の福祉関係団体

成果等	○令和5年度助成実績【6団体、総額 3,090,000円】（前年度比 477,000円増）	
	① 江津市社会福祉協議会	2,400,000円
	② 江津市民生児童委員協議会	300,000円
	③ 江津市老人クラブ連合会	100,000円
	④ 江津市連合婦人会	90,000円
	⑤ 浜田地区保護司会江津分区	100,000円
	⑥ 江津市更生保護女性会	100,000円
備考	・本協議会の助成金は福祉バスの運営費に充てられた。	

事業名	⑤高齢者等生活支援体制整備事業【再掲1-(1)-⑥参照】
-----	------------------------------

事業名	⑥法人運営事業
事業内容	社会福祉協議会は、地域の福祉課題の解決に取り組み、誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを目指し、絶えず、その方法について協議し、それを踏まえて活動するため、地域の各種団体や公私の社会福祉事業関係者等をもって組織されている。このため、これらの福祉関係者の活動を支援するための会議等の旅費、交通費、また職員自ら地域福祉に従事するための人件費、事務所の諸経費等がこれの主なもの、法人の管理に必要とする事業の経費である。
対象者	市民、江津市民生児童委員協議会、江津市老人クラブ連合会、日赤島根県支部江津市地区、島根県共同募金会江津市共同募金委員会、その他関連福祉団体
成果等	○主な収入財源の内訳 会費収入 7,900,150円（前年度 8,067,402円 前年度比 2.07%減） 会員世帯数 7,901世帯 社協広報紙配布世帯に対する会員割合 7,901世帯／9,250世帯＝85.41% 江津市補助金 37,700,000円（人件費9名分、会議室使用料等） 寄付金 4,012,000円（香典返し寄付金等） ○主な事業 (1)各種会議（正副会長会4回、理事会5回、評議員会4回、監査会1回） (2)委員会等 13回 (3)社協広報紙発行費（5回）、福祉バス運行費の一部、事務局維持費 (4)江津市社会福祉協議会業務（決算額 53,192,406円） (5)事務局受託団体の事業を支援 ①江津市民生児童委員協議会支援業務 ②江津市老人クラブ連合会支援業務 ③江津市共同募金委員会業務全般 ④日赤島根県支部江津市地区業務全般 (6)その他関連福祉団体等の円滑な福祉活動の支援
備考	

事業名	⑦研修会等への参加								
事業内容	各種研修会等へ積極的に参加し、役職員の資質向上を図る。								
対象者	社協役職員								
成果等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月日</th><th>内 容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.19</td><td>新任職員マナー研修【平田主事補、岡田主事補】</td></tr> <tr> <td>6.6</td><td>特例貸付フォローアップ説明会【岩崎課長、川上主任】</td></tr> <tr> <td>6.20</td><td>居場所づくり推進セミナー【澤田専門員、川上専門員】</td></tr> </tbody> </table>	月日	内 容	4.19	新任職員マナー研修【平田主事補、岡田主事補】	6.6	特例貸付フォローアップ説明会【岩崎課長、川上主任】	6.20	居場所づくり推進セミナー【澤田専門員、川上専門員】
月日	内 容								
4.19	新任職員マナー研修【平田主事補、岡田主事補】								
6.6	特例貸付フォローアップ説明会【岩崎課長、川上主任】								
6.20	居場所づくり推進セミナー【澤田専門員、川上専門員】								

	6.26	日常生活自立支援事業新任専門員研修会【澤田専門員、川上専門員、岩崎担当職員】
	7.3	指導監査説明会・研修会【牛尾監事・岩崎課長】
	7.3～4	赤い羽根全国ミーティング【岡田主事補】
	7.4	市町村社協会会長・研修会【藤田会長】
	7.7	災害ボランティアセンター立ち上げ訓練 in 江津市【藤田会長、事務局全職員】
	7.13	安全運転管理者講習【林事務局長】
	8.10	あいサポートメッセンジャー養成研修【岡田主事補】
	8.22～23	福祉職員キャリアパス対応生涯研修(初任者コース)【岡田主事補】
	9.20	あいサポートメッセンジャー養成研修【松本主事】
	9.20～21	福祉職員キャリアパス対応生涯研修(管理職員コース)【岩崎課長】
	9.23	石見法律相談センター研修会【澤田係長、川上主任】
	9.27	チームでまちをデザインする包括的な支援体制・重層的支援体制整備事業テキスト解説セミナー【千代延 SC、桑原 SC】
	9.29	災害ボランティアセンター運営マネジメント研修【林事務局長、浅田課長】
	10.5	島根県中堅民生委員児童委員研修会【澤田係長、川上主任】
	10.10	社会福祉協議会の法人後見ネットワーク会議【澤田係長、川上主任】
	10.12	日常生活自立支援事業生活支援員研修会【澤田専門員、川上専門員】
	10.14	労務管理研修【林事務局長、岩崎課長】
	10.23～24	社協職員研修【岡田主事補、桑原 SC、岩崎事務職員】
	10.24	社会福祉協議会の運営に係る勉強会【藤田会長、林事務局長】
	11.9	日常生活自立支援事業専門員研修会・連絡会【澤田専門員、川上専門員】
	11.27	災害ボランティアセンター運営マネジメント研修【林事務局長、浅田課長】
	11.29	権利擁護人材フォローアップ研修【澤田係長、川上主任】
	11.30	メンタルヘルス研修Ⅰ(一般職員コース)【川上主任】
	12.5	メンタルヘルス研修Ⅱ(管理職コース)【岩崎課長】
	12.18～19	コミュニティソーシャルワーク実践力強化研修【川上主任】
	12.19	社会福祉法人監事研修【石津監事、牛尾監事】
	12.20	リスクマネジメント研修Ⅰ【川上主任】
	12.21	リスクマネジメント研修Ⅱ【林事務局長】
	12.22	ふるまい向上研修会【林事務局長】
	12.22	災害ケースマネジメント推進研修【林事務局長、浅田課長】
	1.25	社会福祉法人会計実務研修【岩崎課長】
	1.26	生活福祉資金運営研修協議会【岩崎課長、川上主任】
	1.31	権利擁護研修【澤田係長】
	2.13～14	社協トップセミナー【藤田会長、内田副会長、林事務局長】
	2.16	社会福祉協議会の法人後見ネットワーク会議【澤田係長、川上主任】
	2.22	権利擁護セミナー【澤田係長、川上主任、青笹主事】
	2.26	K-ねっと全国セミナー【澤田係長、川上主任】
	2.28	地域の権利擁護支援体制づくり推進セミナー【澤田係長、川上主任】
	3.6	社協職員広報勉強会【澤田係長、川上主任、青笹主事、岡田主事補】
	3.16	石見法律相談センター研修会【川上主任】
	3.22	社協職員広報勉強会【澤田係長、川上主任、青笹主事、岡田主事補】

3. 地域福祉を支える支援体制づくり

(6) 団体事務の受託

事業名	①江津市民生児童委員協議会(団体事務の受託)
事業内容	江津市民生児童委員協議会事務事業を全面的にバックアップし、その事業の円滑な推進を図る。 (1)協議会事業計画、予算、決算、会計事務等の受託 (2)各種会議の開催(理事会及び単位民児協正副会長・主任児童委員・女性民生委員児童委員代表者合同会議、正副会長会、部会等)

	(6) 赤十字思想普及キャンペーン (7) 災害義援金の受付 ○大災害時の救援活動のみでなく、平素の小災害救援、救急法や幼児安全法等の講習を行う等、身近なところでの活動も多い。
対象者	赤十字社員（江津市民）
成果等	○社資の募集を中心に事務局として、赤十字諸活動の末端事業を受持っている。 ○令和5年度社資募集実績額 5,281,371 円（前年度比 895,129 円減） （募集目安額 700 円/世帯） ○令和5年度災害見舞金品贈呈件数 3 件（前年度比 2 件増） 【内訳】・火災等による見舞金品贈呈数 3 件 ○江津市内での災害非常食炊出し研修への参画・助成 1 件（前年度比 0 件）
備考	〔役員〕 江津市地区長・・・江津市長 副地区長・・・・・・江津市副市長、江津市社協会長 幹 事・・・・・・江津市社会福祉課課長補佐、江津市社協地域福祉課長